

議 事 録	
会 議 名	令和7年第1回刈谷警察署協議会（定例会）
日時・場所	令和7年2月27日（木）午後4時から午後5時30分まで・刈谷警察署講堂
出 席 者	1 委員 10名（定数 10名） 青木 健治会長 奥野 櫻子副会長 深谷 晴紀委員 近藤 純子委員 武田 直也委員 野村 昇司委員 大見 浩明委員 佐藤 久美子委員 亀田 鹿雄委員 井上 有希江委員
	2 警察署員 8名 藤嶋署長 成瀬副署長 山田生活安全課長 東條地域課長 神田刑事課長 田ノ上刑事課長代理 山口交通課長 伊藤警備課長
	3 有識者等
1 委嘱状の交付 署長から新規及び再任の委員に対して公安委員会からの委嘱状を交付した。	
2 各委員挨拶	
3 会長及び副会長の選出 委員の互選により青木委員を会長に選出し、会長は奥野委員を副会長に指名した。	
4 会長、副会長挨拶	
5 警察署長挨拶	
6 警察署幹部紹介	
7 報告内容	
(1) 前回の協議事項 刈谷警察署の地域警察活動に望むこと	
(2) 前回の意見・要望	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域のパトロール隊と連携するなどして、パトロールを強化してほしい。 ・ 地域団体との情報共有の場を持ってほしい、タイムリーな情報発信を 	

してほしい。

- ・ 若手警察官をしっかり育ててほしい。

(3) 施策推進状況

- ・ 地域のパトロール隊と警察官の合同パトロールを行った。
- ・ 交番だよりを隔月発行から、毎月発行とし、配布場所、掲示場所を拡大した。
- ・ 地域の会議に出席し、犯罪発生状況等の情報提供を行った。
- ・ ロールプレイング型の現場対応訓練を行い、現場対処能力の向上を図った。

8 協議事項

特殊詐欺被害防止の効果的な広報啓発方策

9 発言の要旨

- ・ 詐欺に遭わないと思っている人、他人事と思っている人が被害に遭う。
- ・ 高齢者が被害に遭う割合が高いので高齢者に向けた啓発が必要である。
- ・ 相談相手となる同居していない家族にも広報が必要ではないか。
- ・ 被害に遭う一步前の心理状態を伝えてはどうか。
- ・ 模擬的な体験を通じて警戒心を培ってもらう。
- ・ 記憶に残るインパクトのある単語で啓発をしてほしい。
- ・ 今の啓発方法が生きた啓発活動になっているか検証し、ブラッシュアップしてほしい。
- ・ 「〇〇するな」という否定的な啓発ではなく、「〇〇しよう」という肯定的な啓発のほうが効果的である。

10 意見・要望

高齢者への対応として

- ・ 不審な電話は出ない、切る勇気を持つということを繰り返し広報する。
- ・ 被害者となる人が相談できる人への働き掛けをしてほしい。
- ・ 引っかからないという意識の人に、自分も引っかかるという認識を持ってもらうことが重要である。

11 その他

(1) 速度取締指針の説明

交通課長から、速度取締指針の説明があった。

(2) 次回開催予定

令和7年5月中旬から下旬ごろ